

令和5(2023)年度春学期 学修成果に関するアンケート 集計結果

〈実施状況〉

本アンケート調査は、教学IRの一貫として学生の学修成果に関する自己評価を把握し、今後の教育内容を検討する際の一つの資料とすることを主な目的としている。令和5(2023)年度春学期においては、卒業証書・学位記授与式において実施した。

調査対象は、令和5(2023)年度春学期卒業生27人、内18人から回答を得ることができ、回収率は69.2%となった。

〈集計結果〉

対象者：27人 / 回答者：18人 / 回収率：66.7%

※所属別回収率

〔地域共創学群〕

経済学：71.4%、経営学：75.0%、法学：100.0%、現代政治：100.0%
英語：66.7%、歴史文化：0.0%、中国語・中国文化：100.0%、
異文化コミュニケーション：0.0%、スポーツ文化：100.0%
リベラルアーツ：60.0%

〈設問別集計結果〉

設問はディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに関連する11問で構成し、回答選択肢はa～dの4段階に設定した。評価点は、a=4点、b=3点、c=2点、d=1点として算出した平均点である。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	全体平均
2019	3.03	2.82	2.93	3.23	2.76	2.97	2.75	3.05	2.95	3.17	2.91	2.96
2020	3.04	2.88	2.96	3.18	2.79	2.93	2.81	3.02	2.95	3.09	2.93	2.96
2021	2.99	2.83	2.90	3.14	2.76	2.97	2.79	3.07	2.99	3.11	2.95	2.95
2022	3.18	3.10	3.17	3.27	2.93	3.11	3.04	3.22	3.15	3.24	3.10	3.14
2023春	2.94	2.89	3.00	3.17	3.06	3.11	2.94	3.28	3.17	3.11	3.06	3.07
前年度比較	-0.24	-0.21	-0.17	-0.10	0.13	0.00	-0.10	0.06	0.02	-0.13	-0.04	-0.07

設問毎の評価点では、設問5、設問8、設問9に対し、過去最高の評価点となっている。しかし、全体平均を昨年度と比較すると数値が下がっている。

※ 設問別および所属別の回答状況については、「集計データ」を参照。

【設問1】（回答人数：18人）

基盤教育科目の学修を通じて、一般的な教養が身についたと思いますか。

（DP：知識・理解／CP②）

選択肢： a とても身についた b 身についた c 少し身についた d あまり変わらない

〈a 6人（33.3%） b 7人（38.9%） c 3人（16.7%） d 2人（11.1%）〉

aとbの回答者が72.2%となり、評価点は2.94点であった。本学は主体的に学ぶことができる人材の育成のため、それぞれの学位の基盤となる幅広い総合的教養教育を重要視しており、それらを基盤教育科目として1年次を中心に展開している。学生の自己評価は比較的高く、基盤教育の成果が表れたと思われる。

【設問2】（回答人数：18人）

基盤教育科目の学修を通じて、基礎的な語学力が身についたと思いますか。（DP：技能・表現）

選択肢： a とても身についた b 身についた c 少し身についた d あまり変わらない

〈a 7人（38.9%） b 5人（27.8%） c 3人（16.7%） d 3人（16.7%）〉

aとbの回答者が66.7%、評価点は2.89点であった。基盤教育科目では英語、ロシア語、中国語、コリア語、ドイツ語、フランス語の6言語を開講しており、段階的に学べるよう配置されている。外国語の学修は学問に対する基本的な姿勢を身につけ、コミュニケーション能力を向上させる上で重要な位置づけとなっていることから、1言語4単位の修得を卒業要件としている。実質的には1年時の必修科目となっており、卒業時の学生の評価を高めるためにも、語学教育の充実に向け、更に検討を進める必要がある。

【設問3】（回答人数：18人）

基盤教育科目の学修を通じて、社会人としての基礎知識が身についたと思いますか。（CP②）

選択肢： a とても身についた b 身についた c 少し身についた d あまり変わらない

〈a 6人（33.3%） b 8人（44.4%） c 2人（11.1%） d 2人（11.1%）〉

aとbの回答者が77.7%、評価点は3.0点であった。基盤教育科目におけるアキャリア科目、現代教養基礎科目、専攻入門科目などを通じた学修に一定の成果が見られた。今後は修得した知識が卒業後の社会で活用出来ているか、卒業生アンケートの結果等も確認し、より高い評価を得られるよう、教育内容や方法について検証を進める必要がある。

【設問4】（回答人数：18人）

専攻の学びを通じて、専門的な知識が身についたと思いますか。

（DP：知識・理解／CP③）

選択肢：a とても身についた b 身についた c 少し身についた d あまり変わらない

〈a 10人（55.6%） b 3人（16.7%） c 3人（16.7%） d 2人（11.1%）〉

aとbの回答者が72.3%、評価点は3.17点であった。各専攻の教育課程には主専攻の深い専門性を担保する科目を配置しており、基礎から応用まで段階的に学び、しっかりと専門的知識を蓄積することが出来ていると評価できる。基盤教育科目において専門分野の学修に向けた基礎を構築していることも要因の一つと考えられる。

【設問5】（回答対象人数：16人 回答人数：16人）

※設問4で、a・b・cのいずれかを選択した方にお聞きします。

専門的な知識・技能を活かして、地域の発展に貢献する意欲が高まったと思いますか。

（DP：関心・意欲）

選択肢：a とても高まった b 高まった c 少し高まった d あまり変わらない

〈a 5人（31.3%） b 8人（50.0%） c 2人（12.5%） d 1人（6.3%）〉

aとbの回答者が81.3%、評価点は3.06点となった。身につけた専門知識や技能を地域社会のために活用するという意識醸成されていると考える。学生の自己評価は比較的高く、地域貢献活動の充実や地域の発展に貢献しようとする意欲を高める取組みに対する満足度も高いものと考えられる。

【設問6】（回答人数：18人）

全学に開放された専門科目を活用できたと思いますか。（CP①）

選択肢：a とても思う b 思う c 少し思う d あまり思わない

〈a 8人（44.4%） b 6人（33.3%） c 2人（11.1%） d 2人（11.1%）〉

aとbの回答者が77.7%、評価点は3.11点となり、学生の自己評価は概ね高い数値となった。前年度と比較しても若干数値が伸びており、本学の一学群制の学びの可能性を活かし、オリジナルの学びを設計することが出来た学生が一定数存在すると考えられる。

【設問7】（回答人数：18人）

変化を繰り返す社会に対し、持続的かつ総合的に対処できるようになったと思いますか。

（DP：知識・理解）

選択肢： a とても思う b 思う c 少し思う d あまり変わらない

〈a 7人（38.9%） b 5人（27.8%） c 4人（22.2%） d 2人（11.1%）〉

a と b の回答者が 66.7%、評価点は 2.94点となった。前年度と比較し、やや数値が低下している。今後、変化を繰り返す社会に対しての深い理解、持続的かつ総合的に対処できるような広い視野と知識を身につけられるよう、教育内容や方法について改善する必要がある。

【設問8】（回答人数：18人）

情報を収集する力と分析する力の両方が身についたと思いますか。（DP：技能・表現）

選択肢： a とても身についた b 身についた c 少し身についた d あまり変わらない

〈a 9人（50.0%） b 6人（33.3%） c 2人（11.1%） d 1人（5.6%）〉

a と b の回答者が 83.8%、評価点は 3.28点となり、学生の自己評価は高い数値となった。前年度と比較しても数値が伸びており、過去最高評価点となった。情報収集力、分析力の修得に向けたカリキュラムに対する学生の満足度も高いと考えられる。

【設問9】（回答人数：18人）

考察した内容を他者に分かり易く表現し、伝える力が身についたと思いますか。（DP：技能・表現）

選択肢： a とても身についた b 身についた c 少し身についた d あまり変わらない

〈a 6人（33.3%） b 9人（50.0%） c 3人（16.7%） d 0人（0.0%）〉

a と b の回答者が83.3%、評価点は3.17点となり、学生の自己評価は概ね高い数値となった。設問8の情報の収集や分析については概ね高い自己評価であるが、それらを伝える力については課題であると感じている学生が一定数いるようである。

【設問10】（回答人数：18人）

課題を前にした時に自ら考え行動する力が身についたと思いますか。（CP④）

選択肢： a とても身についた b 身についた c 少し身についた d あまり変わらない

〈a 7人（38.9%） b 6人（33.3%） c 5人（27.8%） d 0人（0.0%）〉

a と b の回答者が 72.2%、評価点は 3.11 点となった。自ら考え行動する力を身につけるため、アクティブラーニングを重視したカリキュラムを編成していることに、一定の成果が表れていると思われる。

【設問 1 1】（回答人数：18 人）

地域において他者と共に新しい価値を生み出す力が身についたと思いますか。

（DP：態度・志向性）

選択肢： a とても身についた b 身についた c 少し身についた d あまり変わらない

〈a 7 人（38.9%） b 7 人（38.9%） c 2 人（11.1%） d 2 人（11.1%）〉

a と b の回答者が 77.8%、評価点は 3.06点となり、学生の自己評価は概ね高い数値となったが、課題と感じている学生も一定数いるようである。地域活動への主体的参加を促すような取組みを検討するなど、対応策が必要と思われる。

〈参考〉

札幌大学地域共創学群ディプロマ・ポリシー

建学の精神「生気あふれる開拓者精神」のもと、「地域共創」の理念を体現し、教育目標に謳われる「生気に溢れ、知性豊かな、信頼される人間」に成長し、以下に掲げる資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。

<知識・理解>

言語、歴史、自然、文化、政治、経済、産業、社会、法制度、地域、国際、スポーツの諸側面から人間と社会に関する理解を深め、急激な変化を繰り返す 21 世紀の社会に対し、持続的かつ総合的に対処できる広い視野と知識を身につけていること。

<関心・意欲>

地域の政治、経済、産業、社会、文化の発展を希求し、経済学、外国語学、経営学、法学、文化学に関する専門知識を駆使してその推進に貢献する意欲を身につけていること。

<技能・表現>

基礎的な語学力をベースに国境を越えて発展する地域の諸相を見聞・体感し、情報を収集・分析する技能と、それを分かり易く表現する能力を身につけていること。

<態度・志向性>

地域の取り組みに参加することを通じて、地域において他者と共に新しい価値を生み出す力、すなわち「地域共創力」を身につけていること。

札幌大学地域共創学群カリキュラム・ポリシー

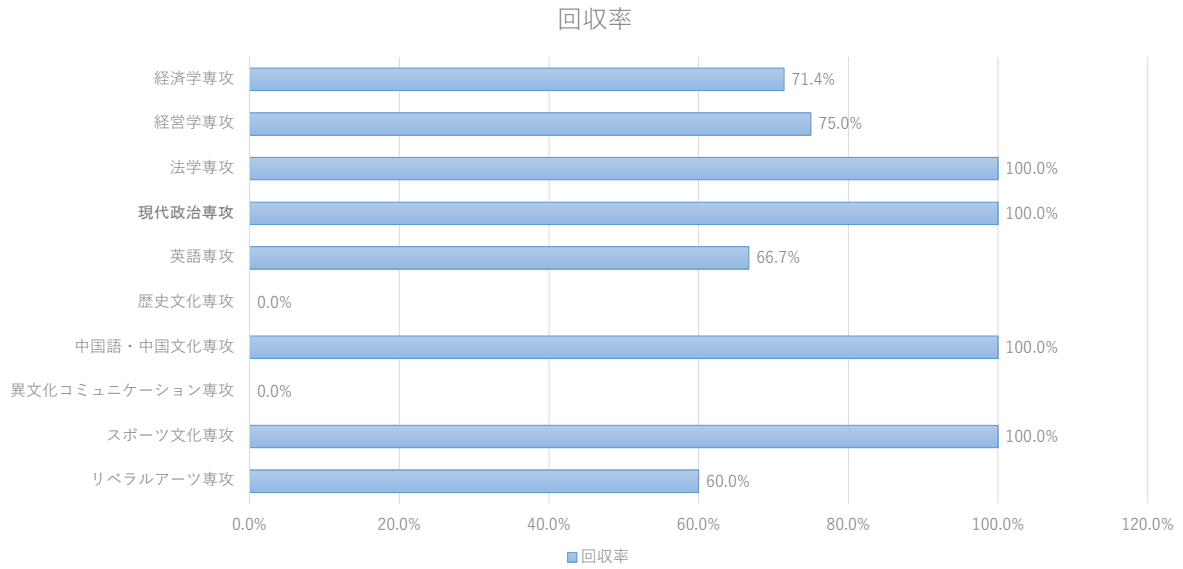
学位授与の方針を踏まえ、自由な学びを通じて主体性を育み、総合的な教養を涵養するために、以下の方針に基づき教育課程を編成します。

なお、単位認定にあたっては成績評価基準に基づく厳格な評価を行います。

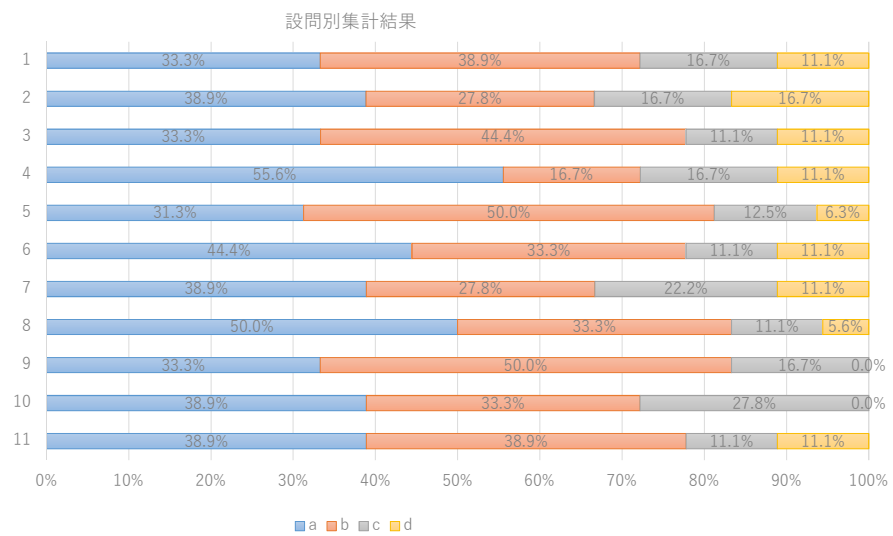
1. 全学共通の基盤教育科目と全学に開放された専門科目を配置し、多様な学びを提供します。
2. 基盤教育科目では、豊かな教養とグローバル世界に対応できる語学力、社会人としての基礎知識を身につけるための科目を配置します。
3. 専門科目では、主専攻の深い専門性を担保する科目を配置すると共に、副専攻をも視野に入れた専攻の枠にとらわれない科目群を提供します。
4. 地域を共に創造する「地域共創」の理念を、自ら考え行動し体験知として身につけるため、アクティブラーニングを重視します。

集計結果（グラフ）

1. 回収率

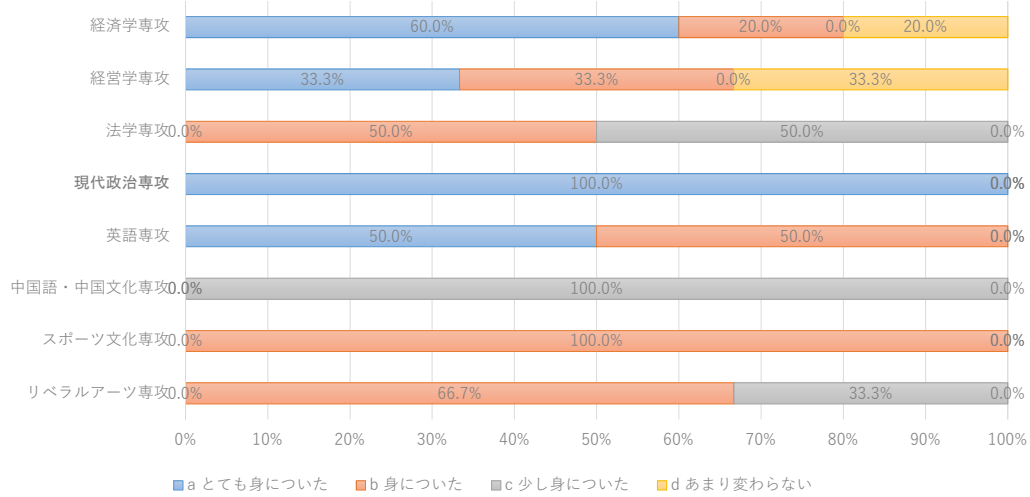


2. 集計結果

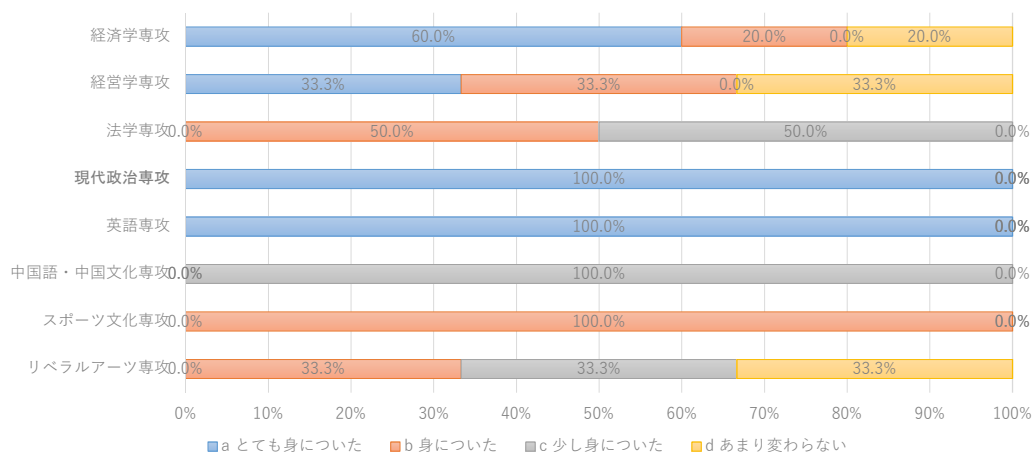


2. 集計結果（1）設問別

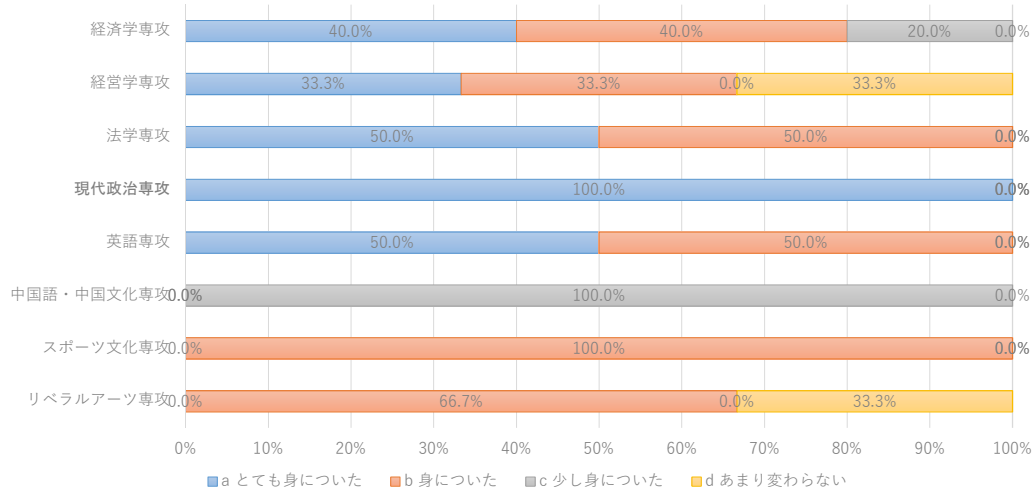
設問1 基盤教育科目の学修を通じて、一般的な教養が身についたと思いますか。



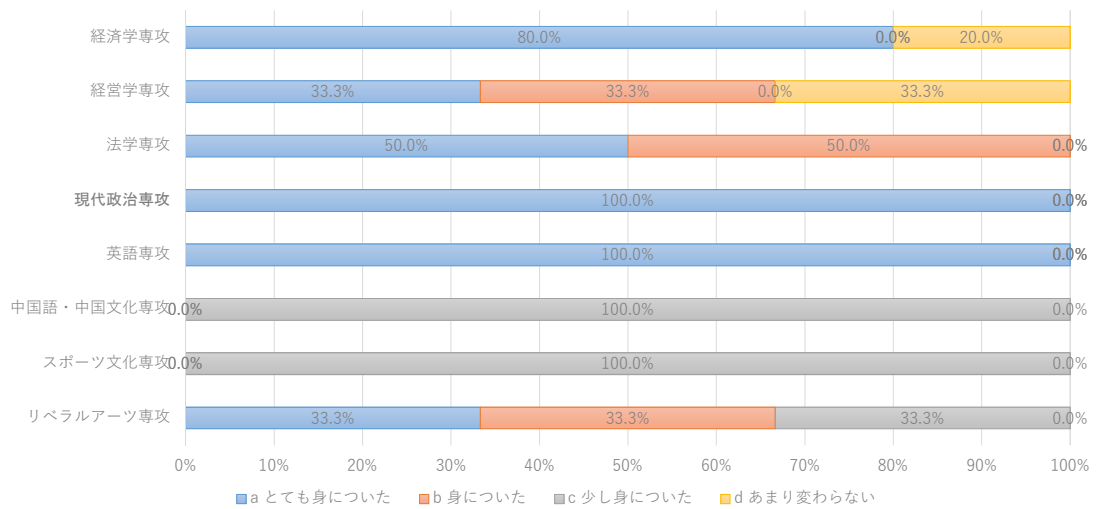
設問2 基盤教育科目の学修を通じて、基礎的な語学力が身についたと思いますか。



設問3 基盤教育科目の学修を通じて、社会人としての基礎知識が身に付いたと思いますか

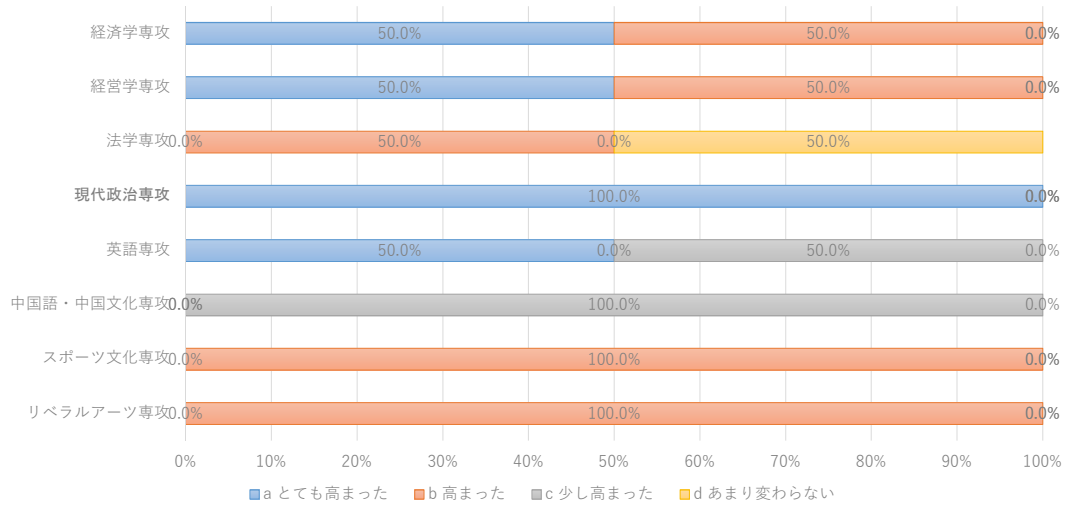


設問4 専攻の学びを通じて、専門的な知識が身についたと思いますか。

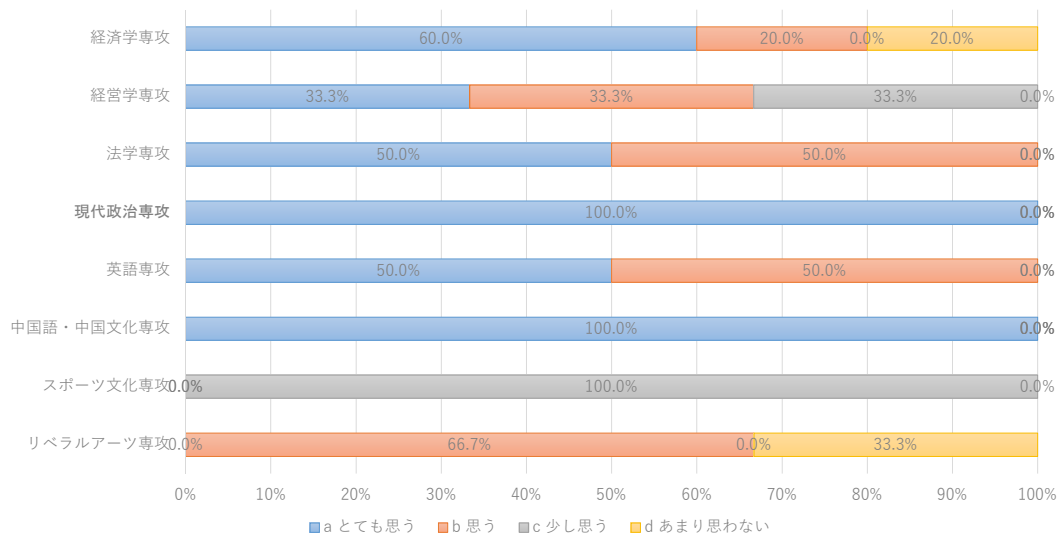


※設問4で a・b・c のいずれかを選択した方にお聞きします。

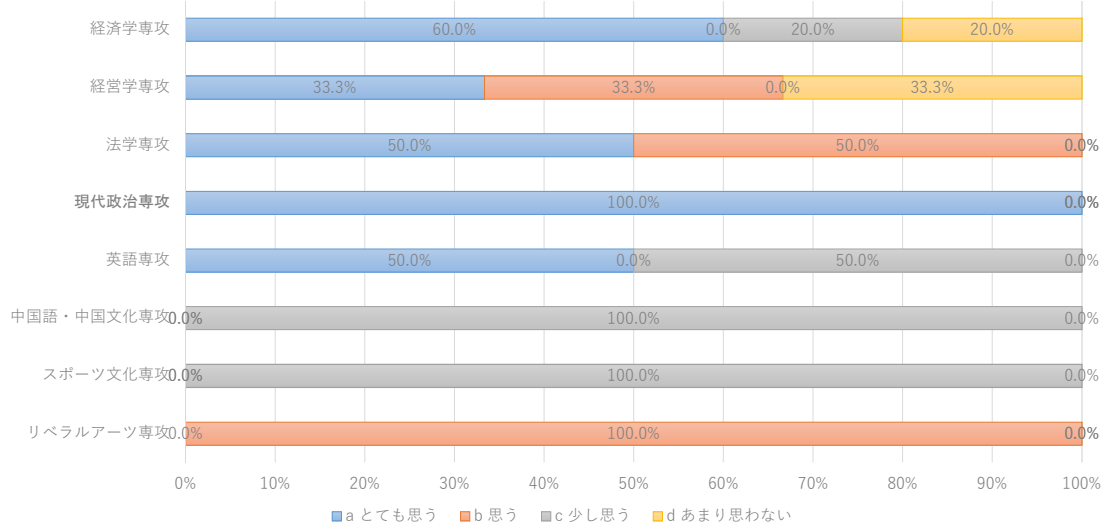
設問5 専門的な知識・技能を活かして、地域の発展に貢献する意欲が高まったと思いますか。



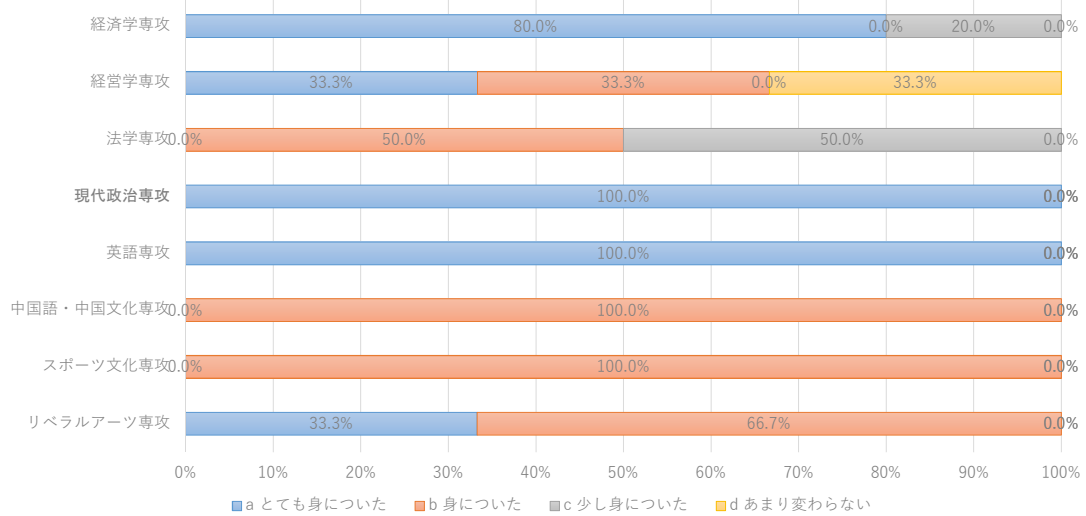
設問6 全学に開放された専門科目を活用できたと思いますか。



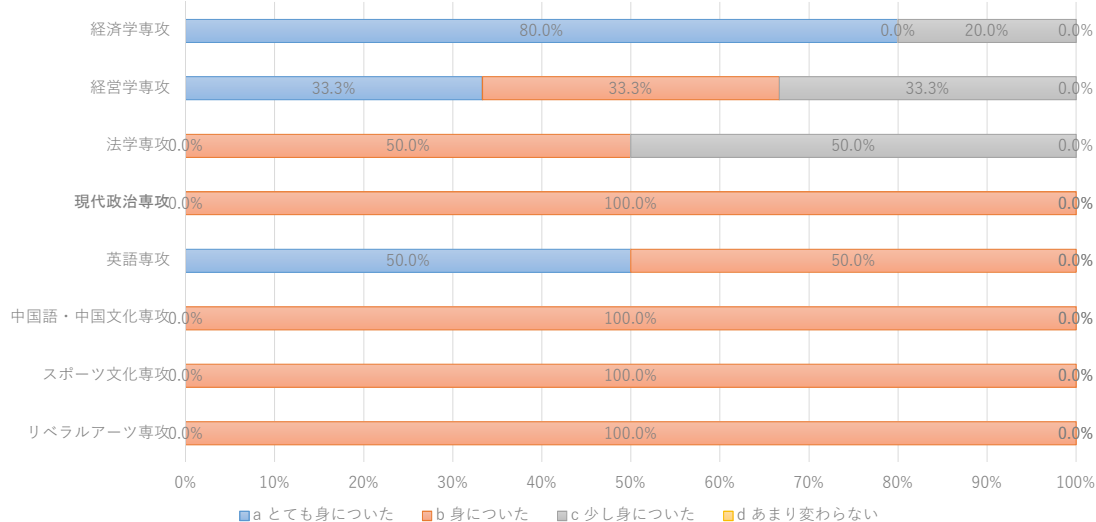
設問7 変化を繰り返す社会に対し、持続的かつ総合的に対処できるようになったと思いますか。



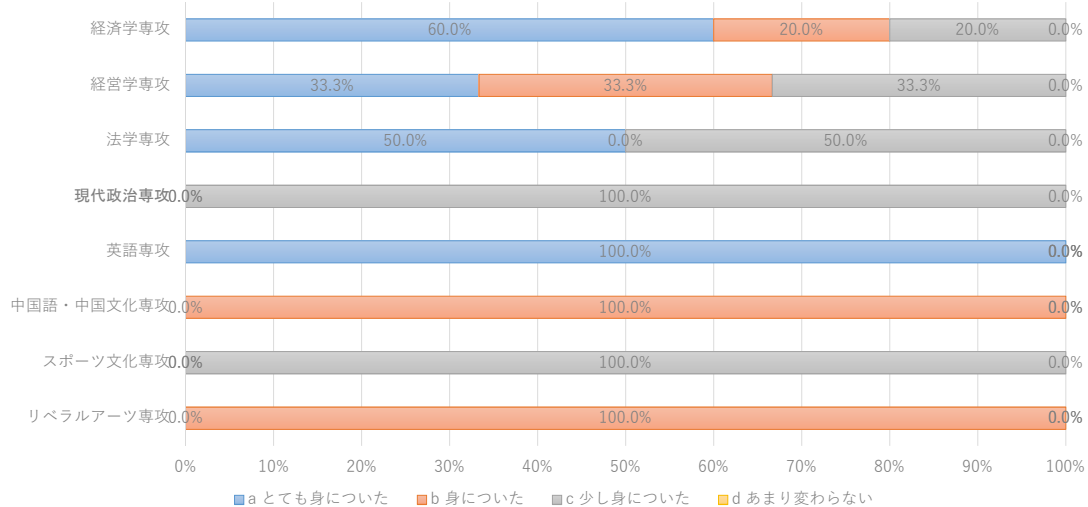
設問8 情報を収集する力と分析する力の両方が身についたと思いますか。



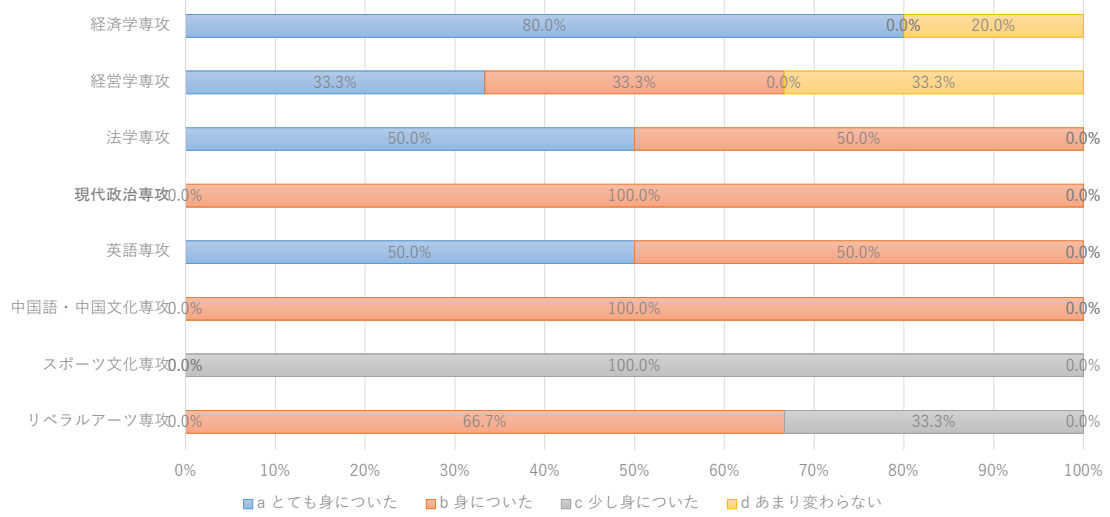
設問9 考察した内容を他者に分かり易く表現し、伝える力が身についたと思いますか。



設問10 課題を前にした時に自ら考え行動する力が身についたと思いますか。

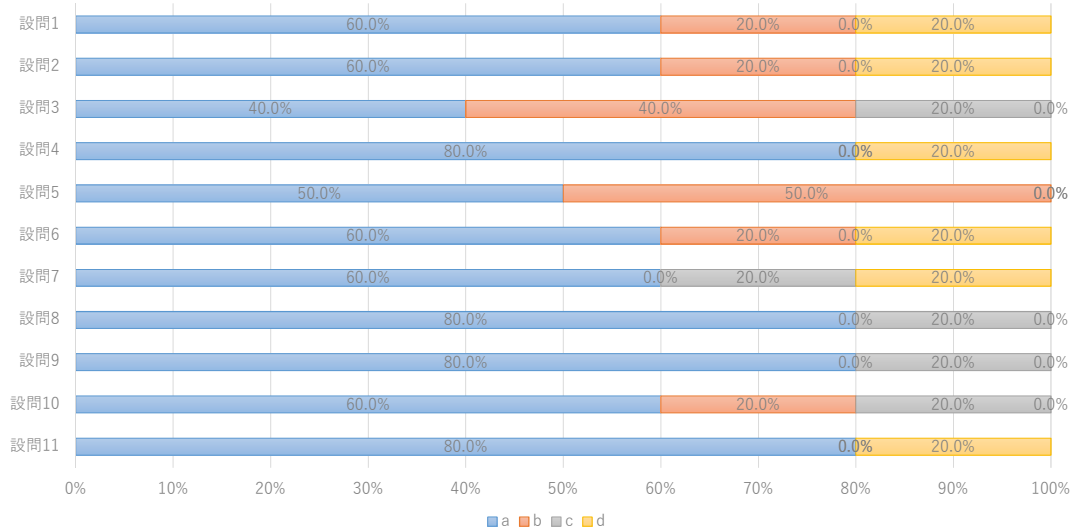


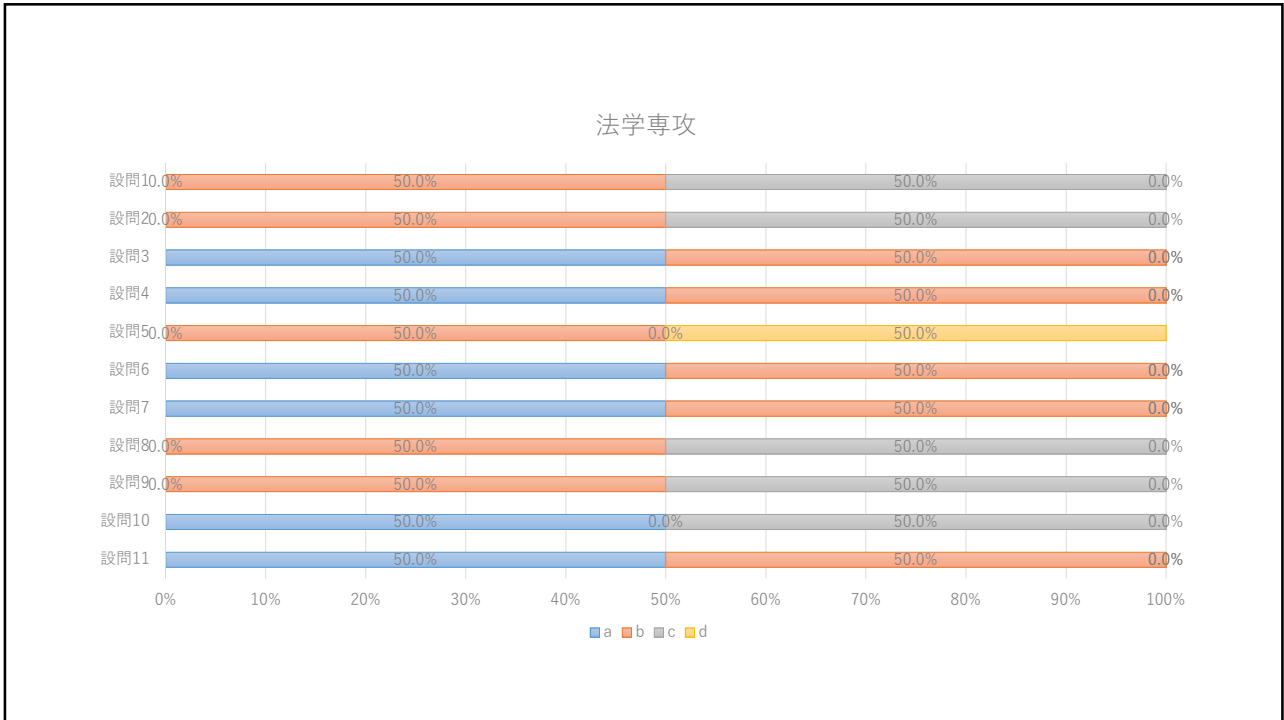
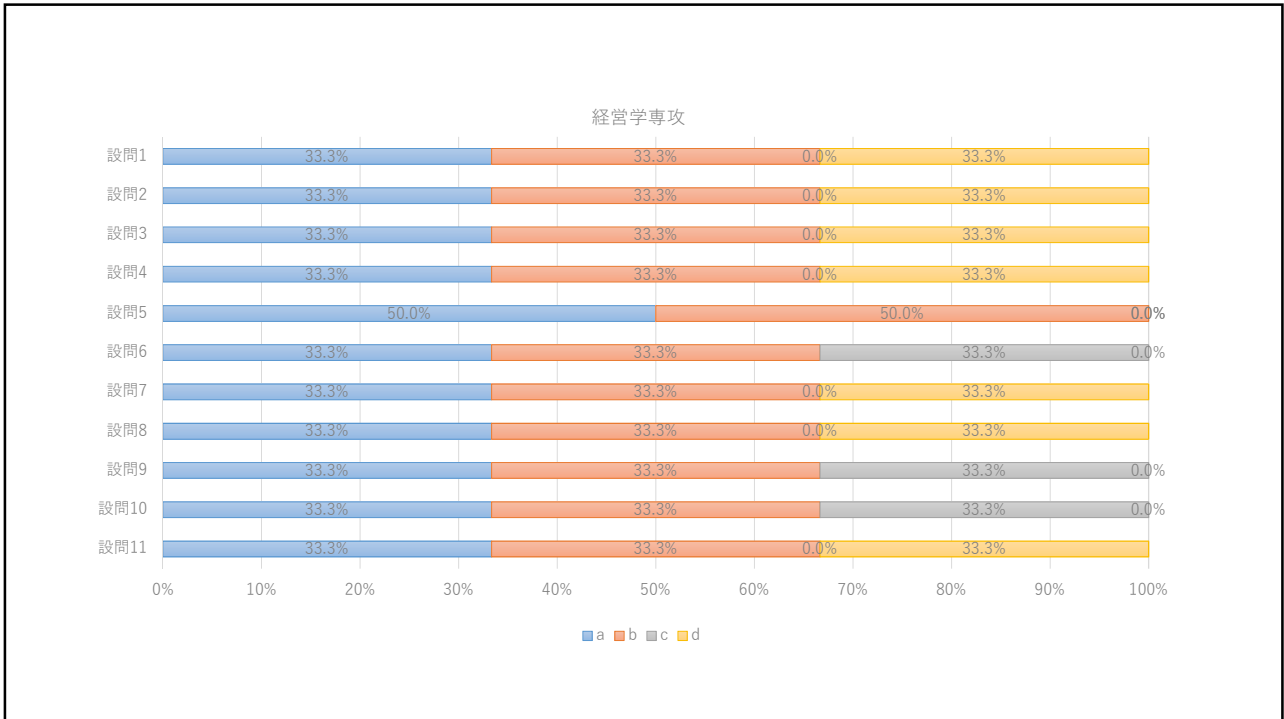
設問11 地域において他者と共に新しい価値を生み出す力が身についたと思いますか。



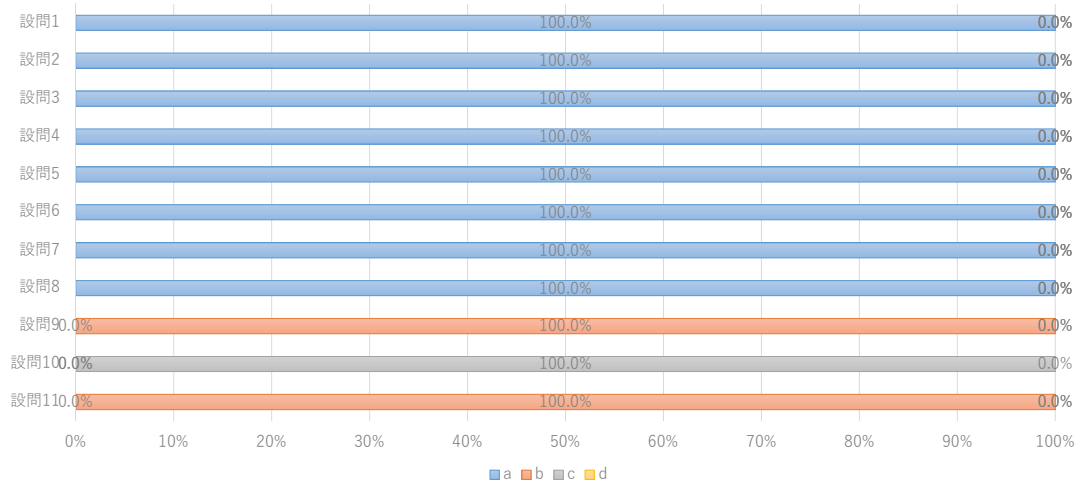
(2) 専攻別

経済学専攻

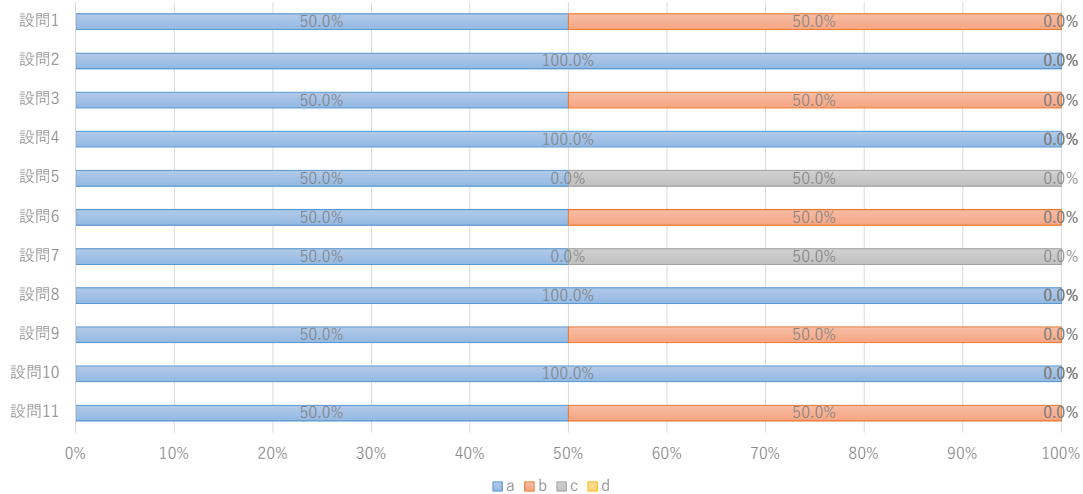




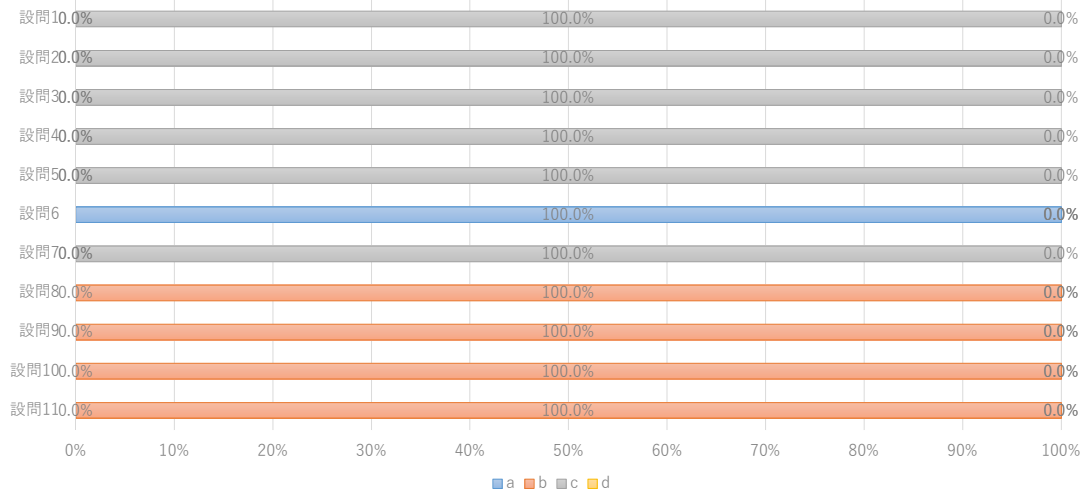
現代政治専攻



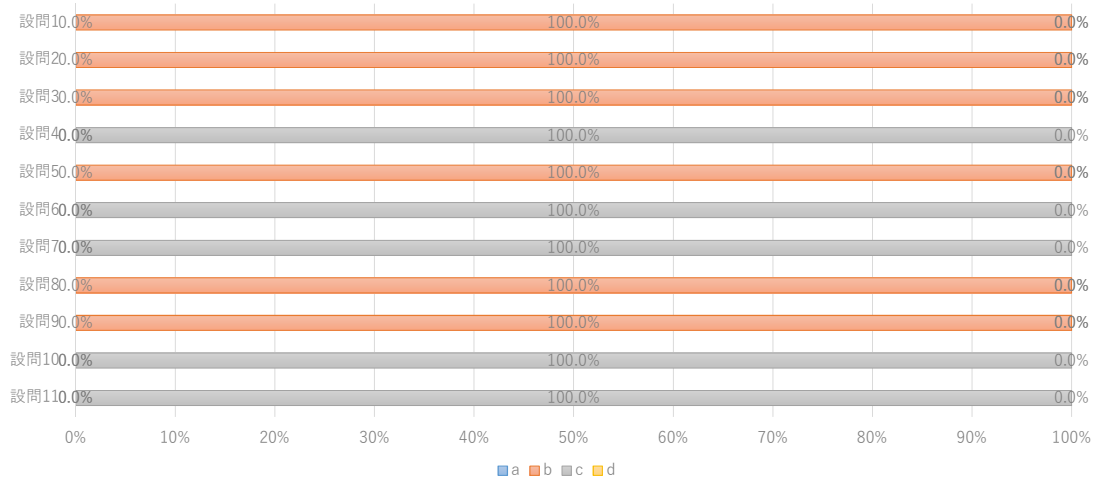
英語専攻



中国語・中国文化専攻



スポーツ文化専攻



リベラルアーツ専攻

